



令和5年度  
9月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成  
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知) ・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標 「自ら学び鍛え 良さを伸長し合える生徒」の育成

二海郡八雲町東雲町 31 番地1

E-mail : yakumo-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

## 「青雲祭を振り返って！」

校長 柴野 貴史

今年の夏は暑かった。しかし八雲中の生徒たちは、もっと熱かった！！ こんな熱いパッションを持ち合せている生徒だったのか、うすうすは感じてはいたものの。こんなにもエネルギーで、創造性豊かで、表現力に富んでいるとは、思いも寄らないことでした。

ステージでのパフォーマンス発表、どの学級もクラスの団結力を高め、皆が一体となって練習準備を行わなければ成し遂げるこのできないものでした。

そして、吹奏楽部の演奏、今年度の初めに聴いた時とは、明らかに違う代物に進化した演奏でした。どんなに練習を積み重ねてきたかは、想像に難くないだろうと思います。

しかし、こう言った表現力等が必要な舞台発表だけでなく、学習の集大成として各教科で作成した作品や美術部、手芸部でコツコツと創り上げた作品、さらに特別支援学級の気持ちのこもった作品をたくさん展示してくれました。ご覧になった方々は感じたことと思いますが、集中して一生懸命、制作している生徒たちの様子が脳裏に浮かんだのではないのでしょうか。

また、青雲祭ポスターコンクールに応募された作品の数々、他にもプログラムに使用できるほどのレベルの作品が数多くありました。その中でも、ベストデザイン賞に選ばれた作品は、広告代理店のデザイナーが制作したものではと見間違ってしまうほどでしたね。

さらに、合唱コンクールは審査するのが困難を極めるほど、素晴らしい歌声を披露してくれました。学級練習の歌声が、青雲祭が近づくにつれて、どんどん校内に響き渡っていきました。どのクラスも積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮することはできたでしょうか。達成感のあるクラス、悔しさが残るクラス、想いはさまざまと思いますが、心を一つに歌いあげた生徒たちの頑張りは、とても素晴らしいものでした。



このように、幅広い分野・領域の発表や展示の数々を創り上げた全校生徒には、一言、『最高です』と閉祭式でお話しさせていただきました。

さあ、後期がスタートします。青雲祭を振り返るとともに、後期はどのように学習や活動を行っていくか。それぞれがあらためて考え、日々の実践を積み重ねていくようお願いします。